

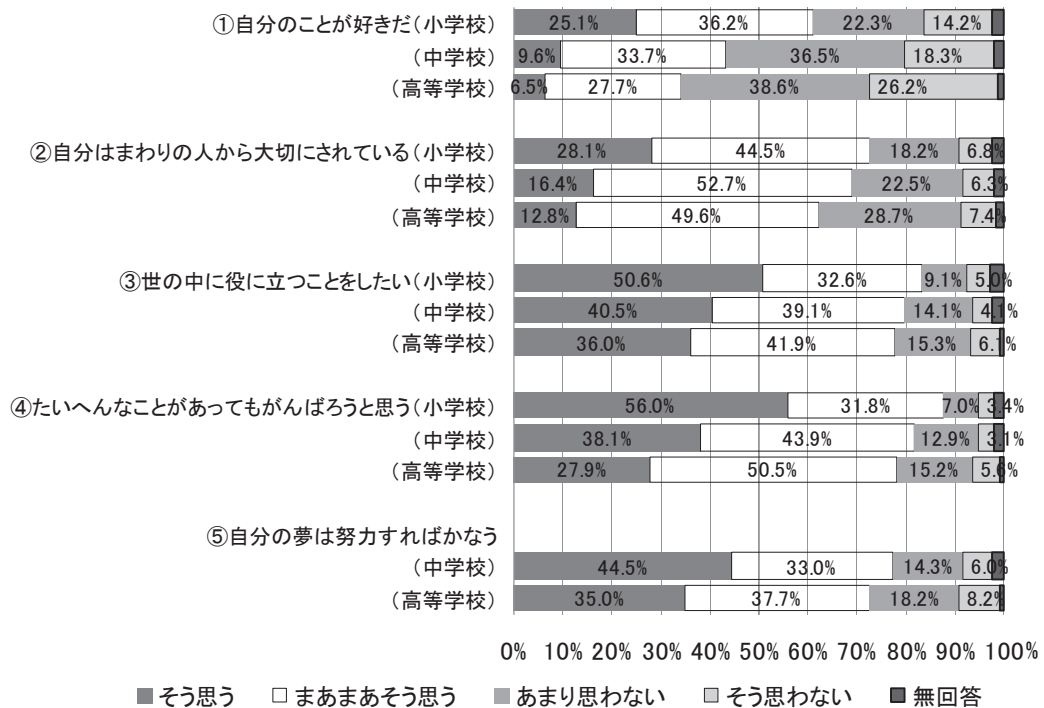
2 信州に根ざし世界に通じる人材の育成

(1) キャリア教育の充実

現状と課題

- キャリア教育に関わる取組が個々に行われており、学校全体での位置付けや教科指導とのつながりが不明確な部分があります。また、市町村によって学校と企業、地域とのつながりを作る取組に差が見られます。
- 普通科の高校生の就業体験活動^{*}の実施率は職業学科の生徒と比べて低く、また、普通科の生徒の多くが、目的意識が不明確なまま進路選択を行っているとの指摘があります。
- 専門高校^{*}においては、職業の多様化や就職環境の変化等への対応が求められており、地域や産業界等と連携した実践的な教育を充実することが課題となっています。
- 就職した若者について、社会への参画意識や自己肯定感、人間関係形成力、コミュニケーション能力など社会人・職業人としての基礎的能力が低いなどの指摘があります。
- 雇用環境の変化など若者を取り巻く経済・社会の状況が変化しており、学校から社会・職業への円滑な移行に課題が見られます。学校教育と職業生活の円滑な接続を図り、子どもや若者に、望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識・技能を育成する必要があります。

図2-(1)-① 「自己肯定感」に関するアンケート結果



次世代サポート課「青少年生活意識調査」平成23年度

第1次計画の成果と課題

- 高等学校における職場体験の実施率は達成見込みですが、中学校では、新学習指導要領の実施などにより総合的な学習の時間の授業時間数が減少し、体験をする時間の確保が難しくなり目標達成が困難な状況です。今後は、学校の職場体験を地域が支援する仕組みの構築や、高校における時代に応じた多様な就業体験の機会の確保等が求められています。

【第1次計画 目標達成見込】			
達成目標	目標値	H23 実績値	達成予測
3日以上の職場体験実施校数（中学校）	120校	91校	達成困難
高校生の職場体験者率（県立高等学校）	12.0%	11.3%	達成見込み



就業体験活動での農園実習



福祉コースでの体験活動

成果目標

- 社会的・職業的に自立した人間の育成のために、基礎的・汎用的能力^{*}を身に付けられるようにします。
- 自己の特性や関心に応じた進路目標を持ち、社会情勢を適切に判断し、進路を選択できる能力を育てます。
- 社会の一員として、地域の中での課題を見つけ、よりよい社会づくりに参加・貢献できる能力を身に付けた人材を育てます。

測定指標

測定指標項目	現状値	平成29年度の目標	備考
「将来の夢や目標をもっている」と答える児童生徒（小6、中3）の割合	小・中学校 80.2% (平成24年度)	小・中学校 83.0%	文部科学省「全国学力・学習状況調査」
キャリア教育のプラットフォーム設置市町村割合	32.5% (平成24年度末)	100%	教学指導課調べ
在学中に就業体験活動 [*] を実施した全日制高校生（高3）の割合	52.2% (平成24年度)	100%	教学指導課「高等学校意識調査」
「就きたい仕事がイメージできる」と答える高校生（高1）の割合	61.7% (平成24年度)	70.0%	教学指導課「高等学校意識調査」

主な施策の展開

キャリア教育を充実するために、次のような取組を進めます。

① 学校における系統的・体系的なキャリア教育の実施

- 各学校がこれまで実施してきている様々な教育活動をキャリア教育の視点で見直し、それらのつながりを意識したカリキュラム（教育課程）作成の参考となる事例集・手引きの作成等により、系統的・体系的なキャリア教育の推進を図ります。【教学指導課】
- 高校の普通科において、「産業社会と人間」^{*}や職業科目の導入、専門高校^{*}との連携等により、生徒の目的意識、職業観や勤労観を育む教育に取り組みます。【教学指導課】

② 学校を支援するプラットフォーム構築

- 産学官が連携して県全体のキャリア教育を支援する「長野県キャリア教育支援センター」の活動を推進するとともに、小中学校のキャリア教育を支援する市町村プラットフォーム^{*}構築の支援を行います。【教学指導課】

③ 実社会とつながる体験機会、発表の場等の充実

- 中学校の職場体験や高校生の就業体験活動*の充実を図り、子どもたちが学ぶ目的や働く意味を考える教育を推進します。また、専門高校*における地域・産業界と連携した実践的な教育を一層推進します。【教学指導課】
- 高校生が赤ちゃんや幼児との触れあい体験を通じ、子育てを理解する教育を推進します。【教学指導課】
- 学校における地域社会等による支援の仕組みづくりを推進することにより、児童生徒が地域社会を体験し、知識・技能を生かし地域に貢献する場の提供を図ります。【文化財・生涯学習課】
- 高等学校卒業予定者が労働法令等に関する知識の習得を図ることができるよう支援します。【労働雇用課】
- ハローワークや市町村、NPOなど就業支援機関との連携により、地域におけるきめ細かな若者支援に取り組みます。【労働雇用課】
- 関係機関等との連携により、児童生徒が技能やものづくりの魅力に触れる機会の提供に取り組みます。【人材育成課】
- 児童生徒の年間を通じた農業体験や農作業の楽しさを学ぶ学習活動を推進し、食に対する感謝の心を育み、就労への関心を高めます。【教学指導課、農業政策課】
- みどりの少年団*活動や木育*などの自然に親しみ、利活用しながら学ぶ活動を通じて、ふるさとの自然環境の大切さを理解する心を育みます。
【県産材利用推進室、森林づくり推進課】
- 工科短期大学校・技術専門学校・農業大学校・林業大学校において、それぞれの産業分野の専門的な知識・技術を持ち、地域を担う人材の育成に取り組みます。【人材育成課、農業技術課、信州の木振興課】
- 社会全体のニーズに応え、地域を担う人材を育成するため、専修学校・各種学校をはじめとする職業教育機関との連携、支援などを進めます。【情報公開・私学課、医療推進課、人材育成課】

④ 福祉教育の推進

- 長野県キャリア教育支援センターの中に、福祉体験や農業体験の活動を推進する部会を設置して、学校の取組を支援します。【教学指導課】
- 学校、教育関係機関、地域、社会福祉協議会等が連携して、福祉教育のネットワークづくりを推進します。【地域福祉課】
- 地域の福祉課題や生活課題を、子どもたち自身が考え、課題解決に実践的に取り組めるよう参加体験型のプログラムづくりや教材づくりに取り組みます。【地域福祉課】
- 学校、公民館等が地域と共に実践する福祉学習の共同実践やプログラムづくりに取り組みます。【地域福祉課】